



2024年度環境 経営レポート

ニプロファーマ株式会社
川越工場

対象期間：2024年4月～2025年3月

発行日：2026年2月2日



目次

1. 環境経営方針
 2. 組織概要
 3. 事業所紹介
 4. 実施体制と役割
 5. 目標、実績及び取り組み
 6. 中期目標
 7. 法令順守の評価
 8. 内部監査の実施
 9. 代表者による評価と見直し
-

1. 環境経営方針

ニプロファーマ株式会社埼玉エリアの工場は、製薬会社としての事業活動を通じて、次の世代に住みよい地球と豊かな社会を残すために、高い倫理観をもって、以下の通り行動することを約束します。

1. 環境経営活動に伴う環境側面の把握及び環境影響評価を適切に実施し、環境への配慮と汚染の防止を推進します。
2. 環境経営活動に伴う関連法規、その他要求事項を順守し、高い技術とノウハウを以って環境マネジメントシステムによる継続的改善を図ります。
3. 全ての従業員及び当工場に関わる協力会社社員が、環境保全に対する認識と理解を深め、工場内のコミュニケーションを図り、環境活動を通じ働き甲斐のある職場づくりに努めます。
4. 環境経営活動において、工場が管理できる環境側面及び影響を及ぼすことができる環境側面の環境負荷を低減するため、以下の環境経営目標に取り組みます。

【環境経営目標】

- 1) 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します
- 2) 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます
- 3) 廃棄物排出量の削減及びリサイクル活動を推進します
- 4) 排水量（または水使用量）を削減します
- 5) 化学物質の適正管理に努めます
- 6) 生産活動の平準化に努め生産効率を向上させ環境負荷低減を図ります
- 7) 改善提案制度など改善活動を通じ環境負荷低減を図ります

ニプロファーマ(株) 埼玉工場

代表者

森口 将人

2024年10月1日 改訂

2. 組織概要

社名	ニプロファーマ株式会社
本社所在地	大阪市摂津市千里丘新町3-26
代表者	西田 健一（代表取締役社長）
従業員数	4,235名（2025年3月末日現在）
資本金	約87億円
事業内容	医療用医薬品の製造及び販売
事業所	埼玉工場、埼玉第1工場、埼玉第2工場、羽生工場、川越工場、本社、大館工場、伊勢工場、志紀工場、近江工場、鏡石工場、道修町分析センター
環境システム	EA21 埼玉工場、羽生工場、川越工場、志紀工場 ISO14001 大館工場、伊勢工場、鏡石工場

3. 事業所紹介

川越工場



川越市は埼玉県の中央部に位置し、江戸時代には城下町として栄えました。その面影が今も色濃く残る、趣のある街です。都心からのアクセスも良く、観光地としても人気があります。川越は「小江戸」と呼ばれ、江戸文化が色濃く残っています。「蔵造りの町並み」「時の鐘」「菓子屋横丁」や川越まつりで有名です。

事業所名	所在地	敷地面積 (m ²)	従業員数 (名) <small>(2025年3月末現在)</small>	製造している剤形
川越工場	埼玉県川越市大字 下赤坂字大野原685-1	4,338	70	錠剤

4. 実施体制と役割



代表者
経口剤・外用剤生産本部
本部長

内部監査責任者
内部監査員

総括環境
管理責任者

川越工場

サイトマネジャー
環境管理責任者
事務局

製造部（実行責任者、推進委員）
品質管理課（実行責任者、推進委員）

責任者等	主な役割
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する総括責任 ・ 課題とチャンスの明確化の承認 ・ 環境経営方針の見直しの指示及び承認 ・ システム運用に必要な人、設備、費用、時間、技能及び技術者の準備 ・ 全体の評価と見直し（マネジメントレビュー）を実施 ・ 環境経営レポートの承認
サイトマネジャー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動評価記録書の確認 ・ 工場における環境経営に関する責任者
総括環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築 ・ 環境経営方針案の策定 ・ 課題とチャンスの明確化案の作成
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動評価記録書の作成 ・ 環境関連法規制等順守評価記録書の確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境関連法規等まとめ一覧表の作成 ・ 環境活動計画書の作成
実行責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動評価記録書の確認
推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動評価記録書の作成 ・ 是正処置計画・報告書の作成
内部監査責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部監査の責任者 ・ 内部監査の計画書作成
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部監査チェックシートの作成 ・ 内部監査の実施

5. 目標、実績及び取り組み

1) CO₂排出量 (CO₂排出係数=0.441)

単位：t-CO₂

目標	実績	差 (実績-目標)	本年度の 主な取り組み	次年度の 主な取り組み	評価
556	675	119	・LED切り替え ・不要照明消灯	継続	×

○：差=0以下(目標を超えない)

×：差=1以上(目標を超える)

【結果】

実績は目標を超えた。

目標を超えた理由は、別法人が利用していた建屋の賃貸が終了し、当該建屋の電力量が当社の電力量として扱いことになったためである。

2) CO₂排出量 製造数量原単位

製造数量 (単位:百万錠)		製造数量原単位 (単位:t-CO ₂ /百万錠)	
2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
179	226	3.11	2.99

【結果】

製造数量原単位は減少した。

3) 一般廃棄物量

単位：kg

目標	実績	差 (実績-目標)	本年度の 主な取組み	次年度の 主な取組み	評価
3,518	4,005	487	・ペーパーレス推進 ・分別推進	継続	×

○：差=0以下(目標を超えない)
×：差=1以上(目標を超える)

【結果】

実績は目標を超えた。

目標を超えた理由は、別法人が利用していた建屋の賃貸が終了し、当該建屋の一般廃棄物量が当社の一般廃棄物量として扱いことになったためである。

5) 一般廃棄物量 製造数量原単位

製造数量 (単位:百万錠)		製造数量原単位 (単位:kg/百万錠)	
2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
179	226	430	217

【結果】

製造数量原単位が増加していなかった。

5) 産業廃棄物量 (産業廃棄物と特別管理産業廃棄物の合計)

単位：t

目標	実績	差 (実績-目標)	本年度の 主な取組み	次年度の 主な取組み	評価
65.27	51.32	-13.95	・資材ロス削減 ・有害試薬排気量削減	継続	○

○：差=0以下(目標を超えない)

×：差=1以上(目標を超える)

【結果】

実績は目標を下回った。

排水処理汚泥の引き抜き回数が2023年度2回、2024年度1回となったことによる産業廃棄物量減少の影響が大きい。今後も取り組みを継続して目標達成に努める。

6) 産業廃棄物量 製造数量原単位

製造数量 (単位:百万錠)		製造数量原単位 (単位:t/百万錠)	
2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
179	226	6.71	2.70

【結果】

製造数量原単位は減少した。

7) 水使用量

単位：m³

目標	実績	差 (実績-目標)	本年度の 主な取組み	次年度の 主な取組み	評価
2,995	3,502	507	・洗浄時すすぎ時間短縮 ・器具洗浄時節水	継続	×

【結果】

実績は目標を超えた。

目標を超えた理由は、別法人が利用していた建屋の賃貸が終了し、当該建屋の水使用量が当社の水使用量として扱いことになったためである。

○：差=0以下(目標を超えない)

×：差=1以上(目標を超える)

7) 水使用量 製造数量原単位

製造数量 (単位:百万錠)		製造数量原単位 (単位:m ³ /百万錠)	
2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
179	226	391	208

【結果】

製造数量原単位は減少した。

9)化学物質使用量

当社は医薬品製造業で様々な化学物質(原料や試薬)を取り扱っている。医薬品の製造や試験検査は国が承認した方法で行う必要があり、使用量を削減することができない。従って、削減対象外としている。



6. 中期目標

環境負荷項目における2025年度から2027年度の目標

CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)			一般廃棄物量 (kg)			産業廃棄物量 (t)			水使用量 (m ³)		
2025	2026	2027	2025	2026	2027	2025	2026	2027	2025	2026	2027
550	545	539	3,483	3,448	3,414	52.3	51.8	51.3	2,965	2,935	2,906

2024年度実績ベースをもとに毎年度1%減の目標

7. 法令順守の評価

主な法令	主な要求事項	結果
浄化槽法	排水水質モニタリング、清掃	○
水質汚濁防止法	排水水質モニタリング等	○
廃棄物処理法	マニフェスト確認等	○
フロン排出抑制法	対象品点検等	○
消防法	危険物保管状態確認等	○
騒音規制法	規制基準の順守義務	○
振動規制法	規制基準の順守義務	○
毒物及び劇物取締法	対象物質保管状態確認等	○

○：対応済

【結果】

要求事項を対応し、法令違反を認めなかった。

8. 内部監査の実施



準備

- 監査員がチェック項目作成
- 被監査部署がチェック項目回答
- 日程調整

ヒアリング

- チェックシートをベースにヒアリング
- ヒアリング内容を記録

結果

- 実施報告書・是正依頼書作成
- **良かった点も記載**
- 是正報告書作成

報告

- 実施報告書・是正依頼書を代表者に提出
- 是正報告書を代表者に提出

チェックシート (記載例)

●年度 埼玉工場 目標		①～④ ●年度実績の▲1%
●年度 活動目標	活動項目	活動内容
	①電力削減	・ 不要な電源の見直し ・ 照明のLED化
	②都市ガス削減	・ ボイラー停止時間の見直し
	③水削減	・ 洗浄ホース形状の見直し
	④廃棄物削減	・ ペーパーレス化 ・ 分別推進

質問事項	回答欄	目標達成	判定
実施取組内容、評価（目標達成）について ※取り組んだ実施月や数値を記載	・ 生産設備が未稼働時には電源をOFFにした ・ 製剤課と包装課の6室の照明をLEDに変更した	△ △	C
実施取組内容の反省点について ※目標達成が「×」「△」の場合は記載	・ 空調24時間稼働や品目移管で電力削減は未達となった		C
上記反省点の対策について ※改善策を記載	・ 目標設定や評価方法の見直しが必要		C

目標達成 ○：数値目標を達成 △：活動を実施したが数値目標を達成できなかった

×：活動を実施しなかった

判定 A:重大な問題点 B:軽微な問題点 C:問題なし

実施結果一覧表

被監査部署	実施年月日	判定
川越工場 製造部	2024年9月30日	C
川越工場 品質管理課	2024年9月25日	C
川越工場 事務局・環境管理責任者	2024年9月18日	C

判定 A:重大な問題点 B:軽微な問題点 C:問題なし

【結果】

川越工場の製造部、品質管理課、および事務局及び環境管理責任者を対象に内部監査を実施した。

その結果、被監査部署全てにおいて問題点を認めなかった。

9. 代表者による評価と見直し

【インプット】

1. 取組み状況

- ① 前回マネジメントレビュー結果に対する対応
 - 1) 原単位での評価方法について見直しを検討すること
→ 生産数量により評価を行った
 - 2) 各項目は前年度比-1%を達成できるよう活動を継続すること
→ 目標、実績及び取り組みの項で報告を行う
 - 3) 構内LED交換に関する動きに注視すること
 - 2025年8月 事業化稟議
 - 2025年9月以降 工場毎に個別稟議
 - 2029年 全工場交換終了

②内部監査の結果

2024年9月18日から9月30日の期間に内部監査を行った。
その結果、全部署で問題点を認めなかった。

③環境関連法規制等の順守状況

環境関連法規制等取りまとめ表を用いて順守評価を行った。
その結果、法令違反となる事案を認めなかった。

④問題点の是正処置及び予防処置状況

2024年度に是正対応が必要と判断した案件は1件で、審査時に挙げられた項目である。その1件のフォローアップは終了した。

2. 目標の達成状況

- ①CO₂排出量
→8頁を参照
- ②廃棄物排出量
→9頁-10頁を参照
- ③水使用量
→11頁を参照

3. 周囲の変化の状況

法令の順守評価を「環境関連法規制等取りまとめ表」を用いて行った。
その結果、法令違反となる事案を認めなかった。

【アウトプット】

- ①各項目は前年度比-1%を達成できるよう具体的な活動をマネジメントレビュー資料にまとめて継続すること
- ②認証体制を変更すること